

平成26年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘 事業報告書

1 総括

今年度は職員の入替わりが多く、支援体制が厳しい1年だったが、一人一人に合わせた新人育成に努め、職員間で協力し合いながらケアの質の低下に繋がらないようにチームワークを大切にしてきた。ここ数年来、職員のマナー向上の取り組みに加え、今年度は開設15年目の節目の年でもあり『虹ヶ丘をよりよくする会』を立ち上げ、個人の課題として意識向上を目指してきた。具体的には仕事に対しての姿勢、マナーなどについて毎月自分自身を振り返り、それを数値化することで、モチベーションアップにつなげてきた。また、『働きやすい職場づくり』のために意見を出し合い、少しずつではあるが環境面の改善も出来てきている。次年度も法人の理念を基本に据えてご入居者お一人お一人の命を支え、充実した日々の暮らしを大切にご入居者に寄り添いながらご家族と共に個別ケアに努めていきたい。

2 入退所状況

入居者14名のうち8名が自宅以外の施設・病院からの入所である。入居者のうち独居4名、高齢者世帯4名、他6名となっている。虹ヶ丘で亡くなられた方10名のうち7名が看取りを行った。また看取りではないが、2名の方についてもご家族にしっかり状態を説明した上で最期は施設で亡くなられた。昨年度は亡くなり退所される方が多い一方で、入所までの段取りや情報収集に時間がかかったケースや入所辞退もあり、空床の時間が長かった。

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	1	1	0	0	2	1	3	1	1	1	1	2	14
退所者数	1	0	0	2	0	3	2	1	1	1	1	2	14
退所理由	死亡	/	/	死亡 入院	/	入院 死亡	死亡	入院	死亡	死亡	死亡	死亡	/
月末在籍者数	49	50	50	48	50	48	49	49	49	49	49	49	/
男性	8	9	9	8	10	10	10	9	9	9	9	8	/
女性	41	41	41	40	40	38	39	40	40	40	40	41	/

※施設10、入院4

3 入所者状況

今年度の平均介護度は3.92（昨年度3.98、一昨年度4.06）。要介護度の分布を見るとⅣとⅤで全体の67.3%と昨年度と変わらないが、その背景には要介護度の低い方が数名亡くなられたという状況がある。入居期間割合では入退去の入れ替わりが早く、1年未満が12名と全体の半分近くを占めている。10年以上入居されている方は2名である。面会件数は1167件と昨年度の964件より増加しており、新しいご入居者の面会が多かったともいえる。

(1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	0	0	0	0.0%
要介護Ⅰ	0	0	0	0.0%
要介護Ⅱ	2	1	3	6.1%
要介護Ⅲ	2	11	13	26.5%
要介護Ⅳ	2	16	18	36.7%
要介護Ⅴ	2	13	15	30.7%
合計	8	41	49	100.0%
平均要介護度	3.50	4.00	3.92	/

(2) 面会状況

月別	延件数	1日平均
4	97	3.2
5	148	4.8
6	131	4.4
7	79	2.5
8	111	3.6
9	90	3.0
10	52	1.7
11	66	2.2
12	93	3.0
1	90	2.9
2	86	3.0
3	124	4.0
合計	1167	3.2

(3) 年齢別状況

年 齢	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－64	0	0	0
65－69	0	1	1
70－74	0	1	1
75－79	0	6	6
80－84	2	10	12
85－89	3	8	11
90－94	3	7	10
95－99	0	6	6
100－	0	2	2
合 計	8	41	49
平均年齢	87.3	86.6	86.7
最高年齢	91	101	
最低年齢	83	66	

(4) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	8	38	46
伊根町	0	1	1
宮津市	0	2	2
その他	0	0	0
合 計	8	41	49

(5) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	2	4.1%
5年以上～10年未満	12	24.5%
3年以上～5年未満	6	12.2%
1年以上～3年未満	17	34.7%
1年未満	12	24.5%
合 計	49	100.0%

4 入所者の健康状況

入院者数は昨年度より3名増の19名だった。入院延日数は昨年度の349日よりやや減り339日、平均在院日数は昨年度21.8日だったが今年度は17.84日とやや短くなったが一番長い方は40日間（肺炎）の入院だった。入院については今までになく泌尿器科の入院実人数4名、入院延日数49日と多かった。それと今年度は病院から看取りと診断され帰設された方が3名あった。

通院については内科・眼科の順で定期受診がほとんどである。精神科については薬が不要になったり、通院されていた方が死亡される等で通院日数が昨年の42日から35日と減少、眼科については延日数14日から21日と増加した。通院の延人員は32名でその内26年度入所の方は7名、26年度入所の14名中半分の方が入所後受診が必要となったり北部医療センターに予約がある状態で入所されている。

感染症については今年度インフルエンザ及びノロウィルスの集団発生はなかった。

(1) 利用者の診察状況

診察別	施設内診療所における診療 実人員	他の医療機関における診療			
		入院		通院	
		実人員	延日数	実人員	延日数
内科系疾患	63	13	276	16	38
外科系疾患				6	7
精神科系疾患				6	35
婦人科系疾患				1	2
眼科系疾患		1	6	7	21
耳鼻科系疾患				1	2
皮膚科系疾患	5			2	8
泌尿器科系疾患		4	49	4	11
整形外科系疾患				1	2
歯科系疾患	12	1	8	1	1
合 計	80	19	339	45	127

(2) 健康管理状況

内容	実施日(月)	利用者(特養)	利用者(ケア)	職員
血液検査	6月	50		108
	12月			108
尿検査	6月			104
	12月			99
心電図検査	6月	50		90
	12月			81
胸部レントゲン検査	6月	50		107
	12月			12
インフルエンザ予防接種	11月	46		64
	12月	1		52

(3) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
伊藤内科医院	26	2.16
由良診療所	26	2.16

(4) 疾患別状況

項目	人数	項目	人数
脳血管障害	21	痔核症	1
認知症	34	便秘症	48
心疾患	21	気管支喘息	6
高血圧症	15	白内障	0
貧血	3	胃がん	0
糖尿病	8	胃潰瘍	0
骨粗しょう症	9	腎機能障害	9
逆流性食道炎	3	精神疾患	6
腸閉塞	0	後縦靭帯骨化症	0
褥創	1	皮膚疾患	8
肝炎	1	膝関節症	13
脳腫瘍	2	パーキンソン	5

(5) 年齢構成別荷重平均栄養価 (年間所要量・摂取量)

栄養項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 摂取 量	所要量	単位
エネルギー	1435	1441	1428	1444	1442	1464	1451	1447	1438	1450	1451	1454	1445	1536	kcal
たんぱく質	54.0	54.8	53.0	53.4	54.1	55.4	54.3	53.9	54.0	54.4	54.8	54.4	54.2	52.1	g
脂質	34.1	34.6	33.1	35.6	34.6	34.3	35.0	34.5	34.5	33.9	35.1	35.0	34.5	37.1	g
カルシウム	443	439	429	432	432	441	440	449	428	442	448	435	438	621	mg
鉄	7.3	8.1	8.3	7.3	7.3	7.3	7.4	7.4	7.5	7.3	7.7	7.8	7.6	6.2	mg
レチノール当量	519	684	498	703	492	504	724	601	727	570	742	753	626	681	μgRE
ビタミンB1	0.65	0.67	0.66	0.64	0.66	0.64	0.66	0.66	0.64	0.67	0.64	0.65	0.65	0.97	mg
ビタミンB2	0.97	0.84	0.80	0.84	0.80	0.81	0.83	0.81	0.83	0.82	0.83	0.83	0.83	1.07	mg
ビタミンC	74	77	69	76	73	74	80	84	81	84	78	81	78	100	mg
食塩	8.2	8.1	8.4	8.3	8.3	8.4	8.4	8.3	8.3	8.3	8.7	8.3	8.3	7.7	g
穀類エネルギー比	49.9	50.0	50.6	49.6	49.7	48.9	48.9	49.8	50.3	48.9	48.8	49.7	49.6	50.1	%
動物性たんぱく質比	45.0	46.8	45.8	46.6	46.8	46.9	46.8	45.6	47.5	46.9	46.0	45.7	46.4	46.9	%
脂質エネルギー比	21.3	21.6	20.8	22.1	21.4	21.1	21.7	21.5	21.6	21.0	21.8	21.5	21.5	20.9	%

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

5 サービス状況

職員体制が落ち着かない状況の中ではあったが、ご入居者やご家族の希望に添った外出（お花見・外食・帰省・お見舞い等）出来た。『虹の会』を中心とした流しそうめん、運動会、文化祭等のレクリエーションや、ほぼ毎月喫茶を開き美味しいコーヒーや専門店のお菓子でゆったりとした時間を過ごしていただくことができ、ユニットを越えた入居者同士の交流の場となった。昨秋から始まったご入居者の目の前でホットプレートを使った調理メニューも楽しみにされている。中庭には四季折々の花が咲き、玄関の生花も好評でご入居者や職員の憩いの空間となっている。サービス向上の為マナーチェック表の継続により、職員全体のレベルアップを意識している。また、ご入居者のターミナル期にはご本人やご家族の想いに添った最期を送っていただけるよう、医師や各専門職間で話し合い、気持ちを一つにしている。認知症の進行によるものか混乱・不穏等で入居者間でトラブルが起こる場面も見られた。会議や研修の中で関わり方など認知症への理解を深めようと努めている。今後も継続しながらケアの質の向上に繋がるよう努力を続けていきたい。

(1) 行事

月/日	内容	参加者数	月/日	内容	参加者数
4/21	虹の会（雲岩公園）	4	10/7	運動会	50
4/23	喫茶	30	10/8	喫茶	30
4/24	但東町チューリップ	1	11/12	喫茶	30
4/25	但東町チューリップ	1	11/14	岩屋小（学習発表会）	4
5/12	西3（買物ドライブ）	2	11/16	文化祭（白帆会）	30
5/14	喫茶	30	11/21	岩屋小（チューリップ）	22
5/28	喫茶	30	11/26	文化祭喫茶（お茶会）	35
6/11	喫茶	30	12/10	喫茶	30
6/12	西3（スシロー）	3	12/19	辻坂先生ピアノ（ふれあい）	25
6/30	東2（スシロー）	2	12/21	西2クリスマス会	14
7/6	夏祭り	45	12/22	東1クリスマス会	10
7/16	喫茶	30	12/22	東2クリスマス会	16
7/30	虹の会（流しソーメン）	20	12/25	西3クリスマス会	12
8/13	お盆供養	15	12/26	餅つき大会	45
8/20	喫茶	30	1/1	寄席（笑福亭忍笑）	35
8/27	ふれあい（琴修会）	25	1/14	喫茶	30
9/7	中村神社相撲大会	4	1/21	ふれあい（野田川歌唱）	25
9/10	東1（スシロー）	2	2/3	虹の会（豆まき）	35
9/10	喫茶	30	2/11	喫茶	30
9/13	敬老祝賀式	50	2/25	喫茶	30
9/18	東1（スシロー）	2	2/28	ふれあい（グリーンエコー）	25
9/24	喫茶	30	3/11	喫茶	30
10/2	ふれあい（野田川歌唱）	25	3/25	喫茶	30

(2) クラブ活動

習字			
4月	なし	10月	8名
5月	8名	11月	7名
6月	8名	12月	7名
7月	7名	1月	8名
8月	7名	2月	8名
9月	8名	3月	8名
		合計	84名

(3) ボランティア受入れ状況

今年も昨年に引き続き馴染みのボランティアに掃除や娯楽・クラブ活動などお世話になった。また夏祭りを例年より早く7月に実施し、その際祭り囃子お披露目会や歌やダンスなど地元の個人及び団体のボランティアにお世話になり夏祭りを盛りたてていただいた。高校生の自主ボランティアの受け入れも行った。

受入月	グループ名	参加者数	内 容	受入月	グループ名	参加者数	内 容
4	加悦谷高校生徒	2	話・雑務	11	個人ボラ	2	習字
	天理教	10	車椅子掃除		天理教	10	車椅子掃除
5	暁星高校生徒	1	話・雑務		白帆会	6	南京玉すだれ
	加悦谷高校生徒	2	話・雑務		コスモス会	10	窓ふき
	個人ボラ	2	習字		天理教	10	車椅子掃除
6	野田川歌唱研究会	10	歌		12	個人ボラ	2
	天理教	10	車椅子掃除	個人ボラ		2	歌・ピアノ
	個人ボラ	2	習字	つつじ会		3	餅つき補助
7	個人ボラ	1	歌	錦会		2	餅つき補助
	酉会（三河内）	25	祭り囃子	個人ボラ	3	餅つき補助	
	レイアロハ	15	フラダンス	1	個人ボラ	2	習字
	天理教	7	夏祭り補助		野田川歌唱研究会	10	歌
8	個人ボラ	2	習字	2	個人ボラ	2	習字
	天理教	10	車椅子掃除		グリーンエコー	4	歌・人形劇
	レフア	10	ウクレレ		宮津高校生徒	4	歌・人形劇
	カトレア・琴修会	6	琴・オカリナ	天理教	10	車椅子掃除	
9	個人ボラ	2	習字	3	天理教	10	車椅子掃除
	天理教	10	車椅子掃除		個人ボラ	2	習字
10	野田川歌唱研究会	10	歌				
	個人ボラ	2	習字				
	天理教	10	車椅子掃除				

6 体験学習・研修受け入れ

中学生の体験学習ではできるだけわかりやすい言葉で高齢者への理解を求めるよう努めた。また高校生や大学生のインターンシップ事業への取り組み等で福祉職場への興味が湧くよう短い期間で複数のサービスを見る研修プログラムを取り入れた。福祉即戦力人材育成研修も職員の経験談を伝えるなど人材確保に繋がるよう意識して受け入れたが、今日現在では就職に至らなかったのは残念であった。

月	内 容	期間(日数)	実人数
8	暁星高等学校初任者研修(特養)(HH)	6	1
	福祉職場インターンシップ受け入れ(加悦谷高生徒)特養	1	1
8~9	福祉職場インターンシップ受け入れ(佛教大学生)特養・DS・神宮寺	5	1
9	自立支援協議会福祉人材研修見学	2	2
	暁星高等学校介護員研修(DS)	3	1
	江陽中学校1年生体験学習(特養)(DS)	3	28
10	京都府立看護学校老人ホーム実習	4.5	3
	DS職員交流事業	1	1
	府新規採用職員後期研修	1	2
	加悦中学校1年生体験学習(特養)(DS)	1	9
11	京都府ユニットリーダー研修	15	6
	福祉職場人材交流研修	1	1
11~12	福祉即戦力職場実習	3	2
2	障害者雇用実習	7	1

7 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
4	新人研修①	施設長&職員	5	1
	新人研修②	施設長&職員	6	1
	特養新人研修	係長&主任	5	1
	法人新人研修	足立氏	5	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術I)	神内PT	7	1
	法人研修『高齢者虐待防止に関するセミナー』	上川病院 井口氏	17	1
	コンプライアンス研修会①	施設長	13	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	4	1
5	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	6	1
	コンプライアンス研修会②	施設長	18	1
	コンプライアンス研修会③	施設長	20	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術II)	神内PT	9	1
	普通救命講習会①	富津与謝消防組合	5	1

6	法人研修『虐待研修会DVD視聴会』①②		27	1
	普通救命講習会②③	宮津与謝消防組合	18	1
	感染症勉強会	北部医療センター 玉井氏	30	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	8	1
7	リハビリ勉強会（浮腫軽減のポジショニング）	神内PT	6	1
	福祉認証制度説明会①	施設長	10	1
	第一回リスクマネジメント勉強会①②	リスクマネジメント委員会	44	1
8	排泄勉強会①②	リブドゥ 遠藤氏	15	1
	福祉認証制度説明会②③	施設長	15	2
	リハビリ勉強会（床面からの立ち上がり法）	神内PT	6	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	8	1
	記録の書き方研修会	京都保育福祉専門学校岡本氏	12	1
9	ターミナル勉強会	梅林寺居相氏	23	1
	マイベストポジション研修①	松味氏	9	1
	リハビリ勉強会（基本的介護技術応用編）	神内PT	8	1
10	感染症勉強会	感染症委員会	11	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	4	1
	褥瘡勉強会①	神内PT	13	1
11	認知症勉強会	金森氏・堀氏	9	1
	褥瘡勉強会②	神内PT	10	1
	家族交流会	北部医療センター 川戸氏	5	1
	マイベストポジション研修②	松味氏	9	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	4	1
1	リハビリ勉強会（車椅子の種類と座り方の工夫、調整技術）	神内PT	8	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	5	1
	特養ケアプラン勉強会	上野副施設長	4	1
2	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	5	1
	第2回リスクマネジメント勉強会	丹後法律事務所藤居氏	28	1
3	キャリアパス説明会（役職者）	エイデル研究所 小林氏	13	1
	退職金制度説明会	今川事務局長	33	3
	リハビリ勉強会（摂食と嚥下）	神内PT	9	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
オレンジロードつなげ隊養成研修	丹後保健所	1	1
ユニットin北京都ケアマネ	ユニットin北京都	2	5
ユニットin北京都介護部門	ユニットin北京都	3	11
ユニットin北京都看護部門	ユニットin北京都	1	1
ユニットin北京都新人研修会	ユニットin北京都	5	1
ユニットin北京都調理部門	ユニットin北京都	3	7
ユニットin北京都全体研修会	ユニットin北京都	11	1
ユニットケア コンビニフォーラム	近畿ユニットケア推進協会	2	1
ユニットケア初任者研修	府老協	3	1
ユニットケア全国実践者セミナー	全国実践者セミナー実行委員会	3	2
ユニットリーダー研修	府老協	2	8
安全運転管理者講習	京都府公安委員会	1	1
介護支援専門員更新研修Ⅱ	京都府	1	3
介護支援専門員実務更新研修課程Ⅰ	京都府介護支援専門員会	1	6
介護福祉士実習指導者講習会	日本介護福祉士会	1	4
介護保険研究委員会研修	府老協	1	1
介護保険集団指導	京都府	1	1
介護報酬改定に係る説明会	京都府	3	1
京都摂食・嚥下障害看護セミナー	日本摂食・嚥下障害看護研究会	1	1
京都府介護福祉人材づくり派遣事業研修	マンパワーグループ	1	1
甲種防火管理新規講習	宮津与謝消防組合	1	2
特定給食施設従事者講習会	丹後保健所	1	1
社会福祉専門セミナー傾聴カトレーニング	京都府社会福祉協議会	2	1
食と手当と看取りの会研修	食と手当と看取りの会実行委員会	5	1
身体拘束ゼロ推進研究委員会基礎研修	府老協	2	1
丹後保健所管内 栄養士研究会	丹後保健所	1	2
定着支援研修会	北部福祉人材確保事業事務局	1	1
認知症介護実践者研修	府老協	2	8
認知症介護初任者研修	府老協	4	1
年末調整説明会	宮津税務署	1	1
福祉即戦力 実習指導者向け振り返り研修会	北部福祉人材確保事業事務局	1	1
福祉即戦力人材養成科 実習指導者向け研修会	北部福祉人材確保事業事務局	1	1
福祉避難サポートリーダー養成研修	丹後保健所	1	1
民間社会福祉施設長研修会	京都府	1	1
労働災害防止に関する説明会	丹後労働基準監督署	1	1

8 事故状況（受診となった事案）

事故報告の総件数（訪問介護含む）は999件（前年度1078件）、ヒヤリハット371件（同394件）であった。事故の内『原因不明の怪我・内出血』が382件と全体の3割強あり多くが特養での事故である。工夫を重ねながら防止に努めているものの、皮膚が弱く内出血等繰り返し出来やすい方が多く、皮膚状態の観察力が高まって来ている。受診に至った事故は10件である。転倒転落による受診が6件であり、骨折の方は1名であった。他にトイレ介護中に車椅子のフットレストがあたり、踵を剥離骨折するという事故もあった。他に介護中の事故で洗面時に顔のイボが剥がれたということや、原因不明で気付いた時には手に剥離が出来ていて出血が止まらなかった為に受診ということもあった。いずれにしても事故に至った経過及び原因を確認し、事故防止策を検討した上でご本人及びご家族様に誠心誠意対応させていただいている。『医療的ケアに関する事故』については、事故17件（昨年度37件）、ヒヤリハット18件だった。医療的ケアの事故は『チューブからの漏れ8件』と多い。しっかり接続をしたはずにもかかわらずチューブの接続部が外れてしまい漏れることが多かったので、何度も確認することで防いでいきたい。その他として『注入食間違い』『注入ボトル回収忘れ』『注入チューブに薬や水分を補給するための注射器を外し忘れ』など明らかな職員の不注意が原因の事故であるので、一つ一つ手技を確認して事故防止に努めていきたい。

項目	特養	ケア	ショート	デイ	小規模	合計
転倒及び転落	2		3		1	6
介助中の事故	1			1		2
誤嚥（誤飲）						0
異食						0
薬の誤配						0
入所者同士のトラブル						0
無断外出						0
自動車事故						0
その他	2					2
合計	5	0	3	1	1	10

10 満足度アンケート

平成26年度満足度アンケートの状況

今年度は制度改正など大きな動きがなかったこともあってか、回収率については前回よりも約1割ほど減少している。要望については、昨年同様にサービス内容に関する要望が多く、ご利用者やご家族の要望をしっかりととらえる必要性が大きくなってきているように感じる。また、職員の態度や言葉づかいなどにもご意見をいただくようになり、サービス業としてしっかりとした接遇が求められていることを痛感している。これからは単なるサービスの提供にとどまらず、質や内容についても考えていく必要があるといえる。

配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率	昨年度回収率
特 養	50	23	46.0%	60.0%
在宅サービス	190	75	39.5%	48.9%
不 明		3		
合 計	240	101	42.1%	51.3%

苦情解決の仕組みをご存知ですか

	はい	いいえ	詳しくは知らない	無回答	合計
特 養	11	2	8	2	23
在宅サービス	22	22	25	6	75
不 明	0	0	1	2	3
合 計	33	24	34	10	101
回答構成率	32.7%	23.8%	33.7%	9.9%	
昨年度構成率	35.6%	28.0%	23.7%	12.7%	

サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特 養	20	2	0	0	1	23
在宅サービス	61	12	0	0	2	75
不 明	0	1	0	0	2	3
合 計	81	15	0	0	5	101
回答構成率	80.2%	14.9%	0.0%	0.0%	5.0%	
昨年度構成率	80.5%	7.6%	0.8%	0.8%	10.2%	

平成26年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

1 総括

今年度は入居された方が3名、退去された方が2名おられ、下半期は11月を除いて満室の状態が続いた。ケアハウスへの申し込み状況については、昨年までと比較すると、認知症や疾病等によって生活維持能力が十分でない方からの問い合わせが複数寄せられた印象があり、面接をするまでにお断りさせていただいた方が数名あった。

入居者の生活状況は、入居者同士の間関係が円滑で良好のまま過ごすことができ、女性を中心とした多くの入居者が、ほぼ毎日のようにトランプや花札をされる午後からのリズムが定着した。また、地域の方が週2回程度、入居者と囲碁の相手をしてくださるために来訪していただいている。そうした交流の機会が増加したことに象徴されるように、今年度に入ってからは入居者同士の衝突やトラブルは激減したと思われる。

認知症の進行に伴い、判断力が低下されたり、身体機能が低下される入居者もおられるが、嫌味を言ったり見下した態度を取られることもなく、入居者同士が相互に援助されている姿も見受けられる。ケアハウスで少しでも長く生活していただくために、服薬の管理が難しくなってきた方への配薬や見守り、また病院等の付添い介助が必要な方に対し、公的サービスの対象にならない場合で身内の方の協力が得られない等の理由がある場合に限り、スタッフによる直接支援が行えるような有償サービスの導入を図り、特別養護老人ホームへの入所がより重度化していく流れが示されている中で、受け入れ体制の一層の強化を次年度の重点課題として取り組みたい。

2 入退居状況

：人

月 別	入居者数	退居者数	退居理由	月末在籍者数	男 性	女 性
4月	0	0		14	5	9
5月	0	0		14	5	9
6月	0	1	特養長寿苑へ	13	5	8
7月	0	0		13	5	8
8月	1	0		14	6	8
9月	0	0		14	6	8
10月	0	0		14	6	8
11月	1	0		15	6	9
12月	0	1	特養虹ヶ丘へ	15	5	9
1月	0	0		14	5	9
2月	1	0		15	5	10
3月	0	0		15	5	10
合 計	3	2		14.2		

3 入居者状況

(1) 年齢別構成 (3月)

年齢	男性	女性	合計
60-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-74	0	0	0
75-79	1	1	2
80-84	3	3	6
85-89	1	5	6
90-94	0	1	1
95-99	0	0	0
合計	5	10	15
平均年齢	81.6	85.3	84.0
最高年齢	87	91	
最低年齢	77	79	

(2) 出身地別状況 (3月)

出身地	男性	女性	合計
与謝野町	3	5	8
伊根町	1	0	1
宮津市	0	2	2
その他	1	3	4
合計	5	10	15

4 身体状況

(1) 要介護度別 (3月)

平均 1.4

介護度	男性	女性	合計	構成比
認定なし	0	1	1	7%
要支援1	1	1	2	13%
要支援2	0	3	3	20%
要介護1	0	3	3	20%
要介護2	3	1	4	27%
要介護3	1	1	2	13%
要介護4	0	0	0	0%
要介護5	0	0	0	0%
合計	5	10	15	100%

(2) 在宅サービス利用状況 (3月)

介護サービス

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	5	33.3%	
訪問看護	4	26.6%	
短期入所	1	6.6%	
通所介護	5	33.3%	
通所リハ	1	6.6%	

介護予防サービス

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	4	26.6%	
訪問看護	1	6.6%	
短期入所	0	0.0%	
通所介護	1	6.6%	
通所リハ	0	0.0%	

5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名
4月	外食 食事会 花見
5月	外食 食事会 ドライブ
6月	外食 食事会
7月	外食 食事会 夏祭り
8月	外食 食事会
9月	外食 食事会 敬老祝賀式
10月	外食 食事会
11月	外食 食事会
12月	外食 食事会
1月	外食 食事会 新年祝賀式
2月	外食 食事会
3月	外食 食事会

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)
4月	習字
5月	習字
6月	習字
7月	習字
8月	習字
9月	習字
10月	習字
11月	習字
12月	習字
1月	習字
2月	習字
3月	習字

6 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
4	法人研修『高齢者虐待防止に関するセミナー』	上川病院 井口昭子氏	3	1
5	コンプライアンス研修会	施設長	3	2
6	法人研修『虐待研修会DVD視聴会』		1	1
	普通救命講習会	宮津与謝消防組合	1	1
	在宅相談員勉強会	石本課長	1	1
	感染症勉強会	北部医療センター 玉井氏	1	1
7	第一回リスクマネジメント勉強会	リスクマネジメント委員会	3	1
	福祉認証制度説明会	施設長	1	1
10	褥瘡勉強会	神内PT	1	1
11	認知症勉強会	金森氏・堀氏	1	1
12	リハビリ勉強会（SSケース検討）	神内PT	2	1
2	第2回リスクマネジメント勉強会	丹後法律事務所藤居氏	1	1
3	キャリアパス説明会（役職者）	エイデル研究所 小林氏	1	1
	退職金制度説明会	今川事務局長	1	1
	リハビリ勉強会（摂食と嚥下）	神内PT	1	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
北部ブロック生活相談員 研究会	京都府老人福祉施設協議会	1	3

平成26年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

1 総括

今年度は、昨年に比べて利用状況も若干増えている。しかし4、5月と70%程度の稼働率となった結果、4月からの3ヶ月間で緊急短期入所受入の実績がなく、7月から緊急短期入所体制確保加算・緊急短期入所受入加算の算定を休止することとなった。その後、稼働率は75%以上にはなったものの80%以上超える月は少なかったため加算は休止したものの、緊急での受け入れも極力受入させていただき、必要な時には利用できるショートステイとして努めてきた。又、前年度に引き続き在宅中重度加算契約により、医療依存度の高い利用者様の受け入れにも努め訪問看護事業所との連携にて安心して利用していただけたと思う。

利用したいと思っただけのショートステイであるため利用者様の意向・介護度に応じたサービス提供ができるように更新の時期に合わせて個別援助計画書の様式を変更し、改めて利用者様・家族様の意向や担当ケアマネが求めるショートステイでの支援を再確認しそれに添えるように居宅サービス計画書の確認とともに個別援助計画書の周知徹底につなげ、利用時のサービス提供をさせて頂いた。

また、利用者様からの意向、援助方法の変更をきちんと把握し全職員が統一した支援ができるよう毎月の会議で再確認すると共に、利用者様の状態変化に応じた援助方法の検討を行ったことで、より細かい気づきが増えサービス提供の質の向上につながったのではないと思う。

娯楽の面では日々のレクリエーションが少しでも充実できるように、職員それぞれがアイデアを持ち寄り試行しバリエーションも増えた。その中でも毎日のズンドコ体操が定着していった。月間レクリエーションでは例年通りの季節にあったレクリエーションの実施に加え、新たに子どもたちとのふれあいの機会を設けることができ大変喜んで頂けた。また、レクリエーションに参加できない利用者様には安楽に過ごしていただけるように理学療法士の指導の下、ポジショニングやシーティングに配慮し、ハンドマッサージなどで安心感を感じて頂けるように支援できるようになった。

2 利用状況

(1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	423	0	0	0	423	14.1
5月	445	0	0	0	445	14.4
6月	469	0	2	2	473	15.8
7月	509	0	2	0	511	16.5
8月	524	0	3	0	527	17.0
9月	479	0	6	2	487	16.2
10月	529	0	0	0	529	17.1
11月	478	0	0	2	480	16.0
12月	481	0	0	0	481	15.5
1月	490	0	2	0	492	15.9
2月	448	0	17	2	467	16.1
3月	485	0	27	0	512	16.5
合計	5,760	0	59	8	5,827	15.9

(2) 実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1日当り 利用開始 人数	1人当り 平均利用 日数
4月	71	65	4	2	3.8	5.8
5月	74	70	3	1	4.0	5.9
6月	78	73	4	1	4.2	6.0
7月	75	71	3	1	4.1	6.3
8月	82	78	3	1	4.3	6.0
9月	77	73	3	1	3.9	6.2
10月	77	73	3	1	4.2	6.3
11月	79	75	3	1	4.2	5.8
12月	77	73	3	1	3.8	5.9
1月	63	59	2	2	3.0	6.8
2月	63	58	3	2	3.6	6.9
3月	69	64	3	2	3.6	7.2
平均	73.8	69.3	3.1	1.3	3.9	6.3

(3) 年齢別状況 3月度

年齢	男性	女性	合計
-64	1	0	1
65-69	1	1	2
70-74	4	1	5
75-79	1	4	5
80-84	2	2	4
85-89	2	17	19
90-94	2	15	17
95-99	0	12	12
100-	0	2	2
合計	13	54	67
平均年齢	78	90	84
最高年齢	91	103	
最低年齢	58	66	

(4) 出身地別状況 3月度

市町名	男性	女性	合計
与謝野町	13	53	66
伊根町	0	0	0
宮津市	0	1	1
その他	0	0	0
合計	13	54	67

(5) 要介護度別状況

介護・予防サービス 3月度 平均 3.2

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	3	3	4.5%
要介護Ⅰ	2	5	7	10.4%
要介護Ⅱ	2	10	12	17.9%
要介護Ⅲ	2	14	16	23.9%
要介護Ⅳ	0	10	10	14.9%
要介護Ⅴ	7	12	19	28.4%
合計	13	54	67	100.0%

障害程度区分 3月度 平均 4.0

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	1	1	50.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	1	1	50.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	0	2	2	100.0%

3 職員の研修参加

(1) 内部研修

月別	内 容	講 師	実人数	日 数
4	新人研修①	施設長・職員	4	1
	新人研修②	施設長・職員	4	1
	法人新人研修	安達氏	4	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅰ)	神内PT	3	1
	法人研修『高齢者虐待に関するセミナー』	上川医院 井口氏	13	1
	コンプライアンス研修会①	施設長	4	1
5	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	2	1
	コンプライアンス研修会②	施設長	3	1
	コンプライアンス研修会③	施設長	3	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅱ)	神内PT	2	1
	普通救命講習①	宮津与謝消防組合	3	1
6	法人研修『虐待研修会DVD視聴会』①②		3	1
	普通救命講習②③	宮津与謝消防組合	8	1
	リハビリ勉強会(DSケース検討)	神内PT	1	1
	在宅相談員勉強会	石本課長	2	1
	感染症勉強会	北部医療センター 玉井氏	10	1
7	リハビリ勉強会(浮腫軽減のポジショニング)	神内PT	6	1
	リハビリ勉強会(SSケース検討)	神内PT	7	1
	第1回リスクマネジメント勉強会①②	リスクマネジメント委員会	11	1
8	排泄勉強会①②	リブドゥ 遠藤氏	9	1
	リハビリ勉強会(床面からの立ち上がり方法)	神内PT	2	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	1	1
	記録の書き方勉強会	京都保育福祉専門学院岡本氏	2	1
9	ターミナル勉強会	梅林寺居相氏	1	0
	マイベストポジション研修①	松味氏	2	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術応用編)	神内PT	2	1

10	感染症勉強会	感染症委員会	6	1
	記録の書き方勉強会SS	職員	9	1
	褥瘡勉強会①	神内PT	4	1
11	認知症勉強会	金森氏・堀氏	4	1
	褥瘡勉強会②	神内PT	9	1
	マイベストポジション研修②	松味氏	3	1
12	在宅相談員勉強会	石本課長	2	1
	ユニットケア勉強会	安見係長	10	1
1	リハビリ勉強会(車椅子の種類と座り方の工夫、調整技術)	神内PT	3	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	1	1
2	第2回リスクマネジメント勉強会	丹後法律事務所藤居氏	9	1
3	リハビリ勉強会(摂食と嚥下)	神内PT	2	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
ユニットin北京都介護部門	ユニットin北京都	1	12
ユニットin北京都新人研修	ユニットin北京都	2	1
ユニットケア全国実践者セミナー	全国実践者セミナー実行委員会	1	2
ユニットリーダー研修	府老協	1	9
認知症介護実践者等養成研修	府老協	1	4
認知症介護初任者研修	府老協	1	1
喀痰吸引研修	医療法人 医仁会	1	12

平成26年度 虹ヶ丘デイサービスセンター 事業報告書

1 総括

今年度は前年度に引き続き、要支援の方には複数体制(口腔・運動器)の機能訓練を実施し、要介護の方は必要な方のみ口腔機能加算や機能訓練Ⅱの計画を立て実施を行った。新たな試みとしては、理学療法士によるモニタリングを3ヶ月に1回の割合で行い、ご利用者の歩行や座位等についてアドバイスを受け、また3ヶ月後にモニタリングを行うという事続け、評価の充実を図り、できる限りのリハビリ実施を行った。しかし来年度は看護体制を中心とした人的要因によって、個別機能訓練は休止、運動器の機能訓練も積極的には行いきにくい、どのように機能訓練サービスを維持していくかが課題となっている。

稼働率は、23.4名/日と、前年度の22.0名/日の比べて1.4名/日の増加となっている。要支援の利用者数がキープできた事と、要介護の利用者の中で、週3回以上利用される方の数が増加していたため、稼働増に繋がったと思われる。しかし、上半期では24.8名/日に対し、下半期は22.0/日と稼働率に差があったのが特徴といえる。特に12月以降体調を崩されて入院や長期休養される利用者が何人もおられたり、週3回利用だった方が数名利用終了になった事が重なった事や、介護・看護師不足により1月中旬より新規利用者・曜日追加をストップせざるを得ない体制上の課題があり、何件も声がかかると登録に繋げる事ができなかった事もあって、下半期は減少している。近年は加悦谷地域だけでも多数のデイサービスがあり、利用者も選択できる事から、新規利用者の声が併設の居宅介護支援事業所以外からかかる事が減ってきている。この状況は今後も変わらないと思われるため、このまま新規受け入れや曜日追加の停止を続けると、減少の一途を辿ると想定される事から、来年度早々には職員体制を改善し、受け入れ停止の解除を行い、積極的に受け入れを行っていきたい。

2 主な取り組み

今年度は『魅力あるデイサービス』を大きなテーマとして活動を行ってきた。要支援の複数サービス(口腔・運動器)は介護職が看護師のもとで実施する事が多かったが、リスクが伴っていないか、介護職でもできるもっと効果的な運動や体操がないか、3ヶ月に1回の理学療法士のモニタリングを新たに取り入れたことで個別に体操や運動、ポジショニング等介護職が積極的に行い、前年度よりも個々に合わせた生活機能維持の取り組みが実施できた。また、口腔体操とケアについてもご利用者の中に定着しており、職員も義歯の汚れ等の確認を随時行って必要な介助を行うなどの取り組みが続けられている。

余暇活動については、一つの作業を皆で行うような過去の取り組みとは異なり、テーブルごとに様々な作業やゲームが実施できている。少人数で行う選択性のある活動以外にも、個人でやりたい作業をされたり、運動されたりと、少人数・個々で、ご自分がやりたい・できる事を選んで活動されていたのが大きな変化だった。前年度から選択レクにつなげていけるような足がかりは作っていた事もあり、今年度実践できたのではないかと考えている。

今年度より、毎月1回全曜日で買物レクを新たに実施した。独居の方や炊事をご自分でされているご利用者を始め、デイに出掛ける以外はなかなか外に出られないため欲しい物が買に行けない方、家族のために買い物される方等、様々な理由があるが、継続して利用されている方も多く、必要なニーズだと捉えている。また、地域のスーパーやお店ともつながりができ、買い物を通して地域との関わりが行われた。来年度以降も買物レクを取り入れ、買い物をしたいご利用者のニーズに応えるだけでなく、地域とのつながりにも引き続き繋げていきたい。

買物以外でも地域との関わりが行えるように、例年通り地域の文化祭への出展を行ったり、かかしコンテストに参加を行った。また、買い物レクに岩屋地区のボランティアの方に継続して来ていただいたり、夏祭りやクリスマス会などで地域の催し物系ボランティアさんに来ていただいたり、前年度までより積極的にボランティアの受け入れを行っている。また、今年度もさぽーとい輪やとの合同夏祭りを行い、前年度よりも多くの参加者があり、地域高齢者との交流を行う事もできた。例年になく地域と繋がる活動が行えたのではないかと思う。

今年度は主任が不在となり、職員数も減ったため、チームワークや個々の担う役割の中での軋轢が生じたりと、チーム作りが大きな課題となる一年だった。職員のチームワークは直接ご利用者の活動に影響を及ぼす事を職員誰もが理解していたが、ご利用者の活動の充実化や臨機応変さが求められる活動が増える一方で、職員の負担や質を問われる機会も多く、皆が悩みながら活動を行う一年だったように思う。来年度は新たな介護報酬の中、虹ヶ丘デイサービスは報酬的には特化しない形でスタートするため、今後ご利用者にどうしたら選んでもらえるデイに発展させられるか、魅力あるデイサービスを深めていく必要があると感じている。

3 サービス実績の状況

	開所 日数	実人数	介護	予防	障害	延利用 人数	介護	予防	障害	1日 平均	介護	予防	障害
4月	30	97	70	27	0	758	503	255	0	25.3	16.8	8.5	0.0
5月	31	98	70	28	0	754	515	239	0	24.3	16.6	7.7	0.0
6月	30	97	68	29	0	757	497	260	0	25.3	16.6	8.7	0.0
7月	31	100	71	29	0	771	519	252	0	24.8	16.7	8.1	0.0
8月	31	99	70	29	0	738	496	242	0	24.6	16.5	8.1	0.0
9月	30	100	72	28	0	729	491	238	0	24.3	16.4	7.9	0.0
10月	31	99	71	28	0	740	508	232	0	23.9	16.4	7.5	0.0
11月	30	95	68	27	0	711	482	229	0	23.6	16.0	7.6	0.0
12月	31	93	67	26	0	690	460	230	0	22.2	14.8	7.4	0.0
1月	31	89	64	25	0	605	409	196	0	19.5	13.2	6.3	0.0
2月	28	88	63	25	0	586	402	184	0	21.0	14.4	6.6	0.0
3月	31	88	62	26	0	669	435	234	0	21.5	14.0	7.5	0.0
合計	365	1,143	816	327	0	8,508	5,717	2,791	0	23.4	15.7	7.7	0.0

4 サービス別利用実績

	機能 訓練	入浴	介護	予防	障害	食事	介護	予防	障害	時間 延長	介護	予防	障害
4月	29	607	449	158	0	668	492	176	0	1	1	0	0
5月	32	632	470	162	0	673	502	171	0	1	1	0	0
6月	30	618	458	160	0	662	483	179	0	0	0	0	0
7月	23	642	469	173	0	699	510	189	0	0	0	0	0
8月	19	617	454	163	0	662	480	182	0	0	0	0	0
9月	20	612	451	161	0	658	476	182	0	1	1	0	0
10月	18	604	455	149	0	673	496	177	0	2	2	0	0
11月	20	583	444	139	0	629	467	162	0	2	2	0	0
12月	31	561	420	141	0	621	451	170	0	0	0	0	0
1月	27	514	377	137	0	560	399	161	0	2	2	0	0
2月	30	495	373	122	0	531	394	137	0	1	1	0	0
3月	29	550	403	147	0	597	424	173	0	1	1	0	0
合計	308	7,035	5,223	1,812	0	7,633	5,574	2,059	0	11	11	0	0

5 介護度別利用状況

(1) 介護度別 平均 1.9

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	5	5	5.7%
要支援2	1	20	21	23.9%
要介護1	7	15	22	25.0%
要介護2	6	11	17	19.3%
要介護3	2	10	12	13.6%
要介護4	0	3	3	3.4%
要介護5	2	6	8	9.1%
合計	18	70	88	100.0%

(2) 障害支援区分別 平均

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	0	0	0	0.0%

6 年齢構成別利用状況

(1) 全体（登録者）

	男性	女性	合計
-60	1	0	1
61-64	0	1	1
65-69	1	1	2
70-74	1	2	3
75-79	2	4	6
80-84	3	13	16
85-89	4	19	23
90-94	6	16	22
95-99	0	11	11
100-	0	3	3
合計	18	70	88
平均年齢	82.8	87.8	85.3
最高年齢	94	101	
最低年齢	57	62	

(2) 介護給付対象者（登録者）

	男性	女性	合計
-60	1	0	1
61-64	0	1	1
65-69	1	1	2
70-74	1	2	3
75-79	2	2	4
80-84	3	7	10
85-89	4	16	20
90-94	5	7	12
95-99	0	7	7
100-	0	2	2
合計	17	45	62
平均年齢	82.3	87.2	84.8
最高年齢	94	101	
最低年齢	57	62	

(3) 予防給付対象者（登録者）

	男性	女性	合計
-60	0	0	0
61-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-74	0	0	0
75-79	0	2	2
80-84	0	6	6
85-89	0	3	3
90-94	1	9	10
95-99	0	4	4
100-	0	1	1
合計	1	25	26
平均年齢	92.0	89.0	90.5
最高年齢	92	100	
最低年齢	92	78	

(4) 総合支援法対象者（登録者）

	男性	女性	合計
-60	0	0	0
61-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-74	0	0	0
75-79	0	0	0
80-84	0	0	0
85-89	0	0	0
90-94	0	0	0
95-99	0	0	0
100-	0	0	0
合計	0	0	0
平均年齢	0.0	0.0	0.0
最高年齢	0	0	
最低年齢	0	0	

7 高齢者介護者教室

月 日	内 容	参加者数	会 場
7月6日	家族交流会(個別のデイでの活動報告・座談会)	4名	虹ヶ丘

8 月次行事

月	行 事 名
4月	花見(SL広場下・板列神社・雲岩公園等)・チューリップ祭り見学・壁画作り
5月	遠足(伊根湾めぐり)・買物レク開始・藤花見(和田山)・壁画作り
6月	買物レク(ウイル・バザール)・壁画作り・ドライブ(阿蘇シーサイドパーク等)
7月	買物レク(ウイル・バザール)・案山子制作・かかしコンテスト出展(グランプリ)
8月	買物レク(ウイル・バザール)・ひまわり見学・夏祭り・さぼーとい輪やとの合同夏祭り
9月	買物レク(ウイル・バザール)・ポイントカード還元外出(スシロー・カフェ)
10月	買物レク(ウイル・バザール)・遠足(五老ヶ岳・あじわいの郷)・文化祭作品作り
11月	文化祭(ウイル・岩屋・虹ヶ丘)・ポイントカード還元外出(由良みかん狩り・カフェ)・岩屋保育所交流・人形劇
12月	買物レク(ウイル・バザール)・クリスマス会・ボランティア発表会(岩屋保育所・ハンドベル・マジック)
1月	買物レク(ウイル・バザール)・初詣(籠神社)・壁画作り
2月	買物レク(ウイル・バザール)・ロング巻き寿司大会・壁画作り
3月	買物レク(ウイル・バザール)・ドライブ(伊根・一字観公園)・うどん打ち

9 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
4	法人研修『高齢者虐待防止に関するセミナー』	上川病院 井口氏	18	1
	コンプライアンス研修会①	施設長	10	1
5	コンプライアンス研修会②	施設長	5	1
	コンプライアンス研修会③	施設長	1	1
	普通救命講習会①	宮津与謝消防組合	5	1
6	普通救命講習会②③	宮津与謝消防組合	5	1
	リハビリ勉強会 (DSケース検討)	神内PT	12	1
	在宅相談員勉強会	石本課長	4	1
	感染症勉強会	北部医療センター 玉井氏	9	1
7	リハビリ勉強会 (浮腫軽減のポジショニング)	神内PT	2	1
	リハビリ勉強会 (SSケース検討)	神内PT	1	1
	第一回リスクマネジメント勉強会①②	リスクマネジメント委員会	15	1
8	記録の書き方研修会	京都保育福祉専門学院岡本氏	4	1
9	リハビリ勉強会 (DSケース検討)	神内PT	13	1
	マイベストポジション研修①	松味氏	3	1
10	記録の書き方勉強会 (DS)	職員	11	1
	褥瘡勉強会①	神内PT	8	1
11	認知症勉強会	金森氏・堀氏	9	1
	褥瘡勉強会②	神内PT	5	1
	マイベストポジション研修②	松味氏	3	1
12	リハビリ勉強会 (DSケース検討)	神内PT	13	1
	在宅相談員勉強会	石本課長	4	1
1	リハビリ勉強会 (車椅子の種類と座り方の工夫、調整技術)	神内PT	1	1
2	第2回リスクマネジメント勉強会	丹後法律事務所藤居氏	15	1
3	リハビリ勉強会 (DSケース検討)	神内PT	13	1
	リハビリ勉強会 (摂食と嚥下)	神内PT	1	1

(2)派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日数
DS職員のためのリスクマネジメント研修	京都府老人福祉施設協議会	1	1
デイサービス交流事業	京都府老人福祉施設協議会	2	2
ユニットin北京都DS部門	ユニットin北京都	2	4
介護福祉士実習指導者講習会	社団法人 日本介護福祉士会	1	4
ユニットin北京都全体研修会	ユニットin北京都	3	1
介護福祉施設在宅領域で働く看護管理者交流会	京都府看護協会	1	1
感染症予防対策基礎研修会	丹後保健所	1	1
機能訓練指導員等研修会	京都リハビリテーション支援センター	2	1
共済会にかかる会計処理説明会	京都府民間社会福祉施設職員共済会	1	1
共済会合同事務説明会	京都府民間社会福祉施設職員共済会	1	1
指定障害福祉サービス事業者等に係る集団指導	京都府	1	1
指導看護師フォローアップ研修	京都府看護協会	1	1
社会福祉専門セミナー	京都府社会福祉協議会	1	1
新しい退職給付金制度への移行説明会	京都府民間社会福祉施設職員共済会	1	1
身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー職員研修	府老協	1	1
中堅職員研修	京都府老人福祉施設協議会	1	1
日本ケアレク研修大会	日本通所ケア研究会	2	1
日本通所ケア研究大会in福山	日本通所ケア研究会	2	2
認知症介護初任者研修	府老協	2	2
喀痰吸引等研修 指導看護師フォローアップ研修	京都府看護協会	1	1

平成26年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

1 総括

今年度、居宅介護支援事業者数は1490件から1335件と漸減し、年度末担当件数は108件となった。件数としては減ってきているが、昨年度に引き続き職員体制が不安定で併設他部門との兼務や、併設他部門への応援なども必要な状況と、新規者や入退院者など月ごとの入れ替わりも激しく、時間内に業務が終わることも少なく、また、利用者家族の都合に合わせ休日出勤も必要なこともあるなど、職員の負担は大きい状態が続いている。これらのことから、新規の受け入れを制限せざるをえない状況が続いている。地域の方から「虹ヶ丘に頼みたい」と言っただけでいる今、十分な体制を整え地域の方の期待に添えるような事業所への体制作りが必要となっている。このような状況ではあったが北部医療センターの精神保健福祉士の協力を得て家族交流会を開催でき、認知症介護をされている家族からは継続開催の希望も聞かれ、年度内にもう一度開催でき、専門職のみの支援にはないエンパワメントを得られる場となり喜んでいただけた。

平成27年度は介護報酬改定の年となり、年度末は報酬改定のための事務処理、家族への説明などが加わったが、大きな混乱をきたすことはなかった。夏には利用者負担の2割負担、補足給付の資産勘案等、また、平成29年4月までに総合事業の開始などが予定されているが、利用者、家族に必要な情報を伝え、円滑にサービス利用ができるよう支援していきたい。

今後平成37年（団塊の世代が後期高齢となる）に向けて、中重度の要介護高齢者や認知症高齢者への対応の更なる強化が求められ医療、介護の多職種連携、予防、住まい生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築が必要となる。地域の中で必要とされている機能が果たせるように町などと連携し推進していきたいと考えている。

2 居宅介護支援・介護予防支援

(1) 件数の推移

	居宅介護支援										
	件数	初回加算	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	認知症加算	独居高齢者加算	小規模多機能型連携加算	運営基準減算Ⅰ	運営基準減算Ⅱ	特定事業所加算Ⅱ
4月	116	5	0	1	1	37	8	0	0	0	116
5月	116	0	4	2	1	38	9	0	0	0	116
6月	113	4	2	1	0	37	9	0	0	0	113
7月	113	3	1	0	2	37	7	0	0	0	113
8月	114	2	1	1	1	38	8	0	0	0	114
9月	115	3	0	0	4	39	7	0	0	0	115
10月	113	2	5	0	1	39	8	0	0	0	113
11月	112	2	1	0	2	38	7	0	0	0	112
12月	112	3	4	2	4	39	7	0	0	0	112
1月	103	3	3	0	2	34	7	0	0	0	103
2月	100	1	2	0	1	33	7	0	0	0	100
3月	108	5	1	0	6	33	8	0	0	0	108
合計	1335	33	24	7	25	442	92	0	0	0	1335

	介護予防支援		
	件数	初回加算	小規模多機能型連携加算
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	0	0	0

(2) 居宅介護内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数
介護保険認定関係	78	58
医療健康相談	2,055	137
デイサービス利用	1,344	117
ホームヘルプ利用	483	66
訪問入浴	56	14
ショートステイ利用	801	90
訪問看護利用	369	48
施設入所関係	148	49
住宅改修・福祉用具	609	95
介護保険以外のサービス	21	16
認知症に関する相談	233	48
家族介護に係る相談	142	55
他サービス利用	32	10
その他	214	65
合計	6,585	868

区分	電話	来所	訪問	文書	その他	合計
本人	452	13	1636	40	175	2316
家族	607	39	1456	5	148	2255
関係機関	793	30	851	85	253	2012
相談協力員	0	0	0	0	0	0
その他	12	3	7	0	7	29
合計	1864	85	3950	130	583	6612

3 在宅介護支援センター事業内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数
介護保険認定関係	9	8
医療健康相談	89	29
デイサービス利用	23	14
ホームヘルプ利用	16	7
訪問入浴	2	2
ショートステイ利用	11	6
訪問看護利用	5	3
施設入所関係	29	10
住宅改修・福祉用具	15	10
介護保険以外のサービス	1	1
認知症に関する相談	7	7
家族介護に係る相談	3	3
他サービス利用	2	2
虐待に関する相談	10	1
権利擁護に係る相談	16	2
その他	19	11
合計	257	116

区分	電話	来所	訪問	文書	その他	合計
本人	34	1	33	0	6	74
家族	44	1	28	1	5	79
関係機関	56	0	21	0	7	84
相談協力員	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	134	2	82	1	18	237

4 諸会議

会議名	主催者	延べ日数
キャラバンメイトコアメンバー会議	与謝野町	1
事例検討会	与謝野町地域包括支援センター	2
生活圏域地域ケア会議	与謝野町地域包括支援センター	5
地域自立支援協議会	与謝野町	3
北部医療センターと地域ケアスタッフとの連携会議	丹後保健所	1
支援センター会議	虹ヶ丘在宅介護支援センター	45

5 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日数
4	法人研修『高齢者虐待防止に関するセミナー』	上川病院 井口氏	4	1
	コンプライアンス研修会①	施設長	1	1
5	コンプライアンス研修会②	施設長	1	1
	コンプライアンス研修会③	施設長	2	1
6	法人研修『虐待研修会DVD視聴会』①②		1	1
	感染症勉強会	北部医療センター 玉井氏	2	1
7	リハビリ勉強会（SSケース検討）	神内PT	1	1
	福祉認証制度説明会①	施設長	1	1
	第一回リスクマネジメント勉強会①②	リスクマネジメント委員会	4	1
8	福祉認証制度説明会②③	施設長	2	2
9	マイベストポジション研修①	松味氏	2	1
10	感染症勉強会	感染症委員会	1	1
11	認知症勉強会	金森氏・堀氏	4	1
	褥瘡勉強会②	神内PT	3	1
	家族交流会	北部医療センター 川戸氏	4	1
	マイベストポジション研修②	松味氏	2	1
12	在宅相談員勉強会	石本課長	4	1
2	第2回リスクマネジメント勉強会	丹後法律事務所藤居氏	4	1
3	キャリアパス説明会（役職者）	エイデル研究所 小林氏	2	1
	退職金制度説明会	今川事務局長	3	2

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日数
かかりつけ医認知症対応力向上研修	京都府医師会	1	1
ユニットin北京都全体研修会	ユニットin北京都	3	1
スーパーバイザー養成研修	京都府福祉人材研修センター	1	4
医療機関以外の高齢者介護・障害者介護医療行為の周知徹底	丹後保健所	1	1
介護支援専門員実務更新研修課程 I	京都府介護支援専門員会	1	6
介護保険集団指導	京都府	1	1
介護報酬改定説明会	京都府介護支援専門員会	1	1
甲種防火管理新規講習	宮津与謝消防組合	1	2
事例検討会	丹後地域リハビリテーション支援センター	2	2
障害福祉サービス報酬改定説明会	京都府	1	1
多職種協働で進める医療と介護の連携フォーラム	丹後地域保健医療協議会	1	1
難病患者支援従事者研修会	丹後保健所	1	1
認知症介護初任者研修	京都府老人福祉施設協議会	1	1

平成26年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

1 総括

今年度については前年度よりご利用者数が約10名減少し、訪問件数も約3割減少した。その理由としては、ご利用回数が多い方が亡くなられたり、ご家族の事情で利用回数が減少する等であったが、年度当初は稼働状況が飽和状態となっていたことや、逆に年度末にかけては事業所内の人員体制を理由として、新規のご相談をお断りせざるを得なかったことが、登録者の減少に至った主な理由として考えられる。しかしご利用者のさまざまな事情に合わせた援助をできる限り柔軟に対応してきた一年でもあった。高齢世帯のお宅でのご利用者の体調不良で急遽一日数回訪問し排泄の確認、また在宅生活の継続を行うことの基本である服薬確認を体調不良後に追加をし体調の安定に繋げるなどをおこなった。ご家族の入院や体調不良時に希望に添ったサービスの増減を柔軟に行うことで自宅での生活が継続できるようになった。緊急時加算が例年より増加したが、要介護5のご利用者でご家族ひとりでの排泄介助が困難であるご家族から要望で、できる限りの対応を行ったものである。また施設サービスのみの利用の方がターミナルになられ、最後にもう一度身体をきれいにしてあげたいとのご家族の思いで、初回利用での清拭利用をされた。残念ながら一度きりの利用になってしまったが、ご家族としてはきれいにしてあげることができて良かったと気持ちを伝えて下さった。これからも在宅生活を継続すること、また在宅でしかできないということを考え希望に添って援助をしていきたいと思う。

障害者総合支援法のご利用者については前年度から引き続き介護保険では限度額を越えてしまうご利用者が自立支援併用してのご利用をして頂いた。他3名の方は体調、サービス共に変化なく利用して頂いているがその内1名が来年度介護保険移行への年齢となられる。

ヘルパー研修については皆が工夫し目新しいことにも積極的に取り組み、また振り返りとして復習をしながらの計画を立て充実したものとなっている。来年度もより一層の知識向上を目指して積極的に取り組んでいきたい。

2 利用者状況

(1) 要介護度別 3月度 平均 2.3

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	1	5	6	20.7%
要介護1	1	4	5	17.2%
要介護2	3	4	7	24.1%
要介護3	1	4	5	17.2%
要介護4	0	3	3	10.3%
要介護5	0	3	3	10.3%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	6	23	29	100.0%

(2) 障害支援区分 3月度 平均

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	1	1	2	66.7%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	1	1	33.3%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	1	2	3	100.0%

(3) 年齢別 3月度

	男性	女性	合計
－64	3	2	5
65－69	0	0	0
70－74	0	1	1
75－79	1	2	3
80－84	1	1	2
85－89	2	13	15
90－94	0	2	2
95－99	0	3	3
100－	0	1	1
合計	7	25	32
平均年齢	71.0	85.4	82.2
最高年齢	89	102	
最低年齢	53	50	

(4) 介護給付

《利用延件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体1	200	173	114	137	134	152	118	119	115	145	125	102	1634
身体1・2人	2	1	1	0	1	2	2	0	0	0	1	0	10
身体1・計	202	174	115	137	135	154	120	119	115	145	126	102	1644
身体2	79	76	67	55	59	77	78	63	67	59	68	81	829
身体2・2人	9	7	3	7	7	10	7	7	8	6	10	4	85
身体2・計	88	83	70	62	66	87	85	70	75	65	78	85	914
身体3	14	13	14	9	7	2	3	3	1	3	1	0	70
身体3・2人	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7
身体3・計	15	13	16	9	7	2	3	3	1	3	5	0	77
身体4	4	4	4	3	2	4	4	2	4	3	4	5	43
身体介護	309	274	205	211	210	247	212	194	195	216	213	192	2678
身体生活1	4	12	16	14	12	12	12	12	16	16	16	15	157
身体1生活2	4	2	10	15	13	11	11	12	11	10	15	7	121
身体1生活3	9	9	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
身体2生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	3	9
身体2生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
身体生活	17	23	32	29	25	23	23	24	27	27	37	25	312
生活2	68	62	42	20	17	29	44	40	32	21	25	45	445
生活3	51	52	34	20	13	11	13	8	8	7	28	61	306
生活援助	119	114	76	40	30	40	57	48	40	28	53	106	751
計	445	411	313	280	265	310	292	266	262	271	303	323	3741
一人派遣	433	403	307	273	257	298	283	259	254	265	288	318	3638
二人派遣	12	8	6	7	8	12	9	7	8	6	15	5	103
計	445	411	313	280	265	310	292	266	262	271	303	323	3741
訪問時間	352:05	334:05	269:45	221:10	204:15	235:05	230:50	204:10	204:25	201:20	250:55	278:15	2986:20
訪問日数	329	332	264	238	222	249	191	229	220	213	251	262	3000
訪問回数	445	411	313	280	265	310	292	266	262	271	303	323	3741
初回訪問加算	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	5
緊急時訪問介護加算	0	1	6	5	2	0	0	0	0	0	0	0	14

《利用実人数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間実利用者数
身体介護	16	17	15	14	13	15	15	15	15	14	14	16	179	24
生活援助	14	16	12	8	7	9	11	10	9	8	9	9	122	21
身体生活	3	5	5	4	5	4	3	4	5	5	5	5	53	11
計	33	38	32	26	25	28	29	29	29	27	28	30	354	36
一人派遣	26	27	24	21	21	23	24	24	25	22	23	22	282	36
二人派遣	3	3	3	2	2	3	4	2	2	2	2	1	29	4
計	29	30	27	23	23	26	28	26	27	24	25	23	311	40
実利用人数	26	27	24	21	21	23	24	24	25	22	23	22	282	36

(5) 予防給付

《利用延件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防訪問介護Ⅰ	14	14	12	16	9	10	11	5	12	9	6	7	125
予防訪問介護Ⅱ	17	10	12	24	19	14	20	12	16	16	14	11	185
予防訪問介護Ⅲ	0	10	11	11	9	6	8	5	6	13	11	0	90
合計訪問時間	44:00	48:00	52:35	60:00	53:00	53:00	57:00	48:00	49:40	48:00	41:00	37:00	591:15
合計件数	31	34	35	51	37	30	39	22	34	38	31	18	400

《利用実人数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間実利用者数
予防訪問介護Ⅰ	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	42	4
予防訪問介護Ⅱ	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35	4
予防訪問介護Ⅲ	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	9	1
予防訪問介護Ⅲ・日割り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
一人派遣	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	7	6	87	8
合計件数	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	7	6	87	8
初回加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(6) 総合支援法

《利用延件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助中心型	22	22	22	23	22	21	21	22	22	23	20	22	262
身体介護中心型	40	32	35	37	28	32	37	28	34	32	32	38	405
合計訪問時間	44:30	40:30	40:30	43:30	39:00	39:00	43:00	38:00	41:30	41:30	38:00	42:30	491:30
合計件数	62	54	57	60	50	53	58	50	56	55	52	60	667

《利用実人数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間実利用者数
生活援助中心型	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
身体介護中心型	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	2
一人派遣	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37	4
合計人数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37	4

3 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日数
4月	法人研修『高齢者虐待防止に関するセミナー』	上川病院 井口氏	6	1
	HH研修『技術』全身清拭と洗髪の手順	ヘルパー	6	1
5月	コンプライアンス勉強会②	施設長	5	1
	コンプライアンス勉強会③	施設長	1	1
	HH研修『技術』ポジショニング	ヘルパー	6	1
6月	感染症勉強会	北部医療センター 玉井氏	4	1
	法人研修『虐待研修会DVD視聴会』①②		1	1
	HH研修『調理』食中毒予防の食材を使用して	ヘルパー	6	1
7月	第1回リスクマネジメント勉強会①②	リスク委員	6	1
8月	記録の書き方研修	京都保育福祉専門学院 岡本氏	2	1
	排泄勉強会①②	排泄委員	1	1
	HH研修『緊急時の対応』熱中症など	ヘルパー	6	1
9月	マイベストポジション研修①	松味氏	2	1
	『記録の書き方』勉強会に出席して	ヘルパー	6	1
10月	褥瘡勉強会①	神内PT	3	1
	HH研修『緊急時の対応』事例検討	ヘルパー	6	1
11月	認知症勉強会	金森氏・堀氏	3	1
	褥瘡勉強会②	神内PT	2	1
	HH研修『調理』家にある食材を使って	ヘルパー	6	1
	マイベストポジション研修②	松味氏	2	1
12月	在宅相談員勉強会	石本課長	2	1
	HH研修『技術』コミュニケーション	ヘルパー	6	1
2月	第2回リスクマネジメント勉強会	丹後法律事務所 藤居氏	6	1
	HH研修『技術』自分を知り相手を知ろう	ヘルパー	6	1
3月	HH研修『調理』濃口醤油と淡口醤油の対比	ヘルパー	6	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日数
医療的ケア部会	丹後圏域障害者自立支援協議会	1	1
近畿ブロックホームヘルパー連絡協議会研修会	京都府ホームヘルパー連絡協議会	1	1
身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー職員研修	京都府老人福祉施設協議会	1	1
多職種協働で進める医療と介護の連携フォーラム	丹後地域保健医療協議会	2	1
ユニットin北京都全体研修会	ユニットin北京都	2	1

1 総括

前年度の流れを受け、上半期は登録者が少ない状況が続いていたが、6月以降と10月以降に新規利用者の登録が増加。入院・老健といった利用中止の件数がある中でも平均登録者数は前年度より増加している。新規利用者の受け入れについても前年度の5件から12件へと倍増した。一概に要因の分析はできないが、地域支援事業をはじめとした様々な対外的活動によって、神宮寺としての認知が高まったこと、また居宅をはじめとした他事業所の新規受け入れが難しい現状もあり、訪問等の在宅サービスについても受け入れできない事業所が増え、その中で小規模多機能を選択されるケースも増えている。平成27年度の制度改正については、小規模多機能にとっては追い風になるのではないかと考えている。年度後半からコンスタントに新規相談があり、今後もこの流れが続くようできる限りの努力が必要である。

ただし、平均介護度で見ると年度当初は2を超えていたものが、8月以降徐々に下がり、平均しても1.9。3月については1.74と開所時の介護度となっている。比較的介護度の軽い方が新規登録をされる現状と、介護度の高い方が軒並み入院、居宅サービスへの変更、長期入所という様々な理由で利用が中止されている状況がある。当面は要介護度が低い状況が続くと予想されるが、状態に応じての区分変更や、重度化に対応できる準備を事業所としても考え、取り組みを行っていかなければならない。

前年度に看取りとして2名の方の対応をしたが、本年度も在宅での看取りを1名経験している。現在利用中の数名の方から「自宅で最期まで」との希望を聞いている。その一方で、状態低下に伴い居宅サービスへ変更したケースもあり、以前からの課題ではあるが医療の必要性が高まった場合、神宮寺のサービスでは支えられないケースが存在する。入院に関しても退院が難しくそのまま転院となるケースも見られる。全てを受け入れることはできないが、様々なケースに対応することが自分たちのスキル、経験を高めることに繋がる。看取りまで対応してきた実績は今後必ず生きてくるものと思われる。

【活動状況】

月よっての差はあるが、訪問、通い共に大きな差はなく一年推移した。登録者数の減少が直接サービスの減少に繋がるのではなく、利用者の状況に応じて変化することが月次状況から読み取れる。ここ数年の神宮寺の状況として、通い数よりも訪問数の増加が顕著である。一日複数回の訪問が必要な利用者が数名あり、その方々の援助が訪問数を押し上げている。内容的にも、利用者の現状からプランを見直し、柔軟に援助の形を変えているのも特徴である。

平成27年度の制度改正で訪問体制強化加算が新設される。訪問支援に対する加算であり、通い・宿泊の支援から訪問主体への支援への転換であり、神宮寺は加算基準を十分に満たしている。通い・宿泊を積極的に減らすということではないが、自宅での生活にこだわり、そこでの暮らしを続けていくためにも訪問の強化は必要である。今後も訪問に対するこだわりを持って対応していきたい。

訪問・通いの数が数年安定しているのに対し、宿泊のニーズは年々低下している。宿泊の実人数が年度当初は8名程度あったのに対し、年度後半は5名程度まで減少している。2月は体調不良に伴って緊急の泊りを実施したため回数が増えているが、全体的に宿泊ニーズは減少傾向にある。宿泊の希望者が少ないため今後もしばらくは宿泊数が少ない状況で推移すると予想される。

日常的な活動としてはレクリエーション等の強化をはかり、利用者の意向に沿った外出等の行事が実施できた。その反面、認知症高齢者に対する支援、対応に苦慮する場面も多く、コミュニケーション等様々なスキルの強化が必要であると感じている。ミーティングや会議等での情報の共有と、意識を高めることで利用者に関わることを意識し、取り組んでいきたい。

そのような中で、会議の場を通しての職員勉強会を年6回実施した。内容的には、認知症対応、記録の書き方、看取り、緊急時対応と制度改正についてなどであり、職員の理解・意識を高めることに繋がっていると思う。講師が固定化している傾向があるが、そこは次年度の課題としてとらえ取り組みたい。

【地域支援事業】

いしかわサロンについては準備が間に合わず開催できない月もあったが、週に1度のあわしまサロンとあわせ、ほぼ計画通りに実施できた。訪問活動についても、事業を開始した4年前に比べ、地域の中で気になる高齢者が少なくなり、民生委員からの相談件数・個別訪問件数ともに減少している。地域にも活動が認知され、地域の方との顔が見える関係づくりができてきた。年3回実施した老い支度の勉強会とあわせて今後も継続して取り組みたい。

活動自体は軌道に乗っていると感じているが、当初予定していた地域を巻き込み、協力者を増やす活動がまだまだ希薄である。年度当初に予定していたカフェ事業についても実施することができなかった。様々な活動を行う中でも地域の協力は不可欠であり、事業所スタッフだけでなく地域を巻き込んだ活動の実践と、協力者の確保が次年度における課題であると感じている。

2 利用状況

(1) 月次状況

	登録者数	平均介護度	1日当り通所数	1日当り訪問数	宿泊延べ数	一人当りサービス提供回数(週)
4月	19	2.12	7.7	10.4	24	7.4
5月	18	2.07	7.7	9.8	12	7.4
6月	21	2.20	8.8	9.9	24	7.1
7月	21	2.06	8.3	10.4	16	7.1
8月	20	1.96	9.1	11.4	17	7.6
9月	20	1.96	8.7	12.0	15	7.6
10月	21	1.84	8.7	11.6	11	7.2
11月	22	1.80	8.6	12.6	18	7.2
12月	24	1.80	8.8	10.3	18	6.2
1月	23	1.76	8.2	8.2	15	5.3
2月	20	1.74	7.9	8.4	22	6.1
3月	22	1.74	7.6	9.6	15	6.3
年間平均	20.9	1.92	8.3	10.4	17.3	6.9

(2) 登録状況

	新規登録者数	登録中止者数	利用中止理由
4月	2	1	老健入所1
5月	0	2	入院2
6月	2	2	居宅変更1、入院1
7月	1	4	入院3、死亡1
8月	0	0	
9月	0	1	老健入所1
10月	2	1	入院1
11月	1	0	
12月	2	2	入院2
1月	1	2	入院1、他事業所入所1
2月	0	3	入院1、居宅変更1、老健入所1
3月	1	0	
合計	12	18	

(3) 年齢別状況(3月度)

	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-74	1	1	2
75-79	0	1	1
80-84	1	1	2
85-89	0	8	8
90-94	0	7	7
95-99	0	1	1
100-	0	1	1
合計	2	20	22
平均年齢	76.5	88.8	87.6

(4) 介護度別状況(3月度)

平均 1.74

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	2	2	9.1%
要支援2	0	3	3	13.6%
要介護1	0	5	5	22.7%
要介護2	1	6	7	31.8%
要介護3	1	3	4	18.2%
要介護4	0	0	0	0.0%
要介護5	0	1	1	4.5%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	2	20	22	100.0%

3 月次行事

月	行 事 名
4月	お花見、加悦谷祭り
5月	外出(ドライブ)
6月	外出(ドライブ)、さつき展見学
7月	あわしま祭り、ウィル買い物
8月	ひまわり見学、壁画作成
9月	外出(ドライブ)
10月	ブドウ狩り(フルーツ王国弥栄) 石川小3年生認知症サポーター養成講座
11月	外食(スシロー)、石川区文化祭
12月	忘年会、クリスマス会
1月	新年祝賀、初詣
2月	節分、石川小交流会
3月	ひな祭り

4 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
4	新人研修	施設長&職員	2	2
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅰ)	神内PT	1	1
	法人研修(虐待防止セミナー)	上川医院・井口氏	7	1
	コンプライアンス研修会①	施設長	8	1
5	コンプライアンス研修会②	施設長	5	1
	コンプライアンス研修会③	施設長	3	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅱ)	神内PT	1	1
	普通救命講習会①	宮津与謝消防組合	2	1
6	普通救命講習会②③	宮津与謝消防組合	1	1
	感染症勉強会	北部医療センター玉井氏	5	1
	看取りについての勉強会	沼田NS、深田係長	11	1
7	リハビリ勉強会(浮腫軽減のポジショニング)	神内PT	2	1
	第一回リスクマネジメント勉強会①②	リスク委員会	11	1
8	排泄勉強会①②	リブドウ遠藤氏	1	1
	記録の書き方研修会	京都保育福祉専門学校 岡本氏	2	1
9	マイベストポジション研修①	松味氏	2	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術応用)	神内PT	1	1
10	感染症勉強会	感染症委員会	2	1
	記録の書き方研修(神宮寺)	大江、沼田	1	1
11	認知症勉強会	金森氏・堀氏	5	1
	褥瘡勉強会②	神内PT	4	1
	マイベストポジション研修②	松味氏	2	1
	平成27年度制度改正について①	深田係長	11	1
	緊急時対応	沼田NS、深田係長	11	1
12	在宅相談員勉強会	石本課長	2	1
1	認知症勉強会	大江	12	1
2	第二回リスクマネジメント研修会	丹後法律事務所 藤居氏	6	1
	感染症対応(ノロウィルス)	沼田NS	11	1
	平成27年度制度改正について	深田係長	11	1
3	リハビリ勉強会(神宮寺ケース検討)	神内PT	6	1

2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
ユニットin北京都小規模多機能部門	ユニットin北京都	1	5
ユニットin北京都全体研修会	ユニットin北京都	1	1
定着支援研修会	京都府北部福祉人材確保事業	1	1
認知症介護実践者研修	京都府老人福祉施設協議会	1	4
認知症介護初任者研修	京都府老人福祉施設協議会	1	1